

## 1. 活動期間

2025年3月19日（火） 13:00～15:00

## 2. 活動場所：石川県珠洲市 宝立第1団地集会場（石川県珠洲市宝立町鶴飼丑83）

## 3. 石川県珠洲市の被害状況（令和7年3月18日 14:00 時点 石川県庁情報195報）

人的被害 死者：161人 うち災害関連死：64人 負傷者：重傷 47人、軽症 202人  
住家被害 建物全壊・半壊・一部損壊：5,599棟 非住家被害：6,284棟

## 4. 支援活動の実際

### 【地域コミュニティ支援：宝立お茶会】 14名参加

お茶会は、上肢と下肢の体操、三色団子作り、歌の企画で実施した。

1グループ4～5名で3グループとなり、1グループに3袋の白玉粉を用意した。1袋ずつ、白、ピンク、緑色の団子を15個前後作り、お湯に入れて茹で、氷水で冷やし、3色を串に刺した。3色串団子を皿にのせて好みの量の餡子やきな粉をまぶして完成させた。その後お茶と3色団子を食べながら、ギターに合わせて歌を歌いながら談笑した。串団子は一人3本～4本を、お持ち帰り用にされていた。

団子作りは、初めての方が大半で、水の量や色粉の量、団子の大きさなど様々となったが、声をかけあいながら協力して三色団子を完成することができた。歌では、ギターに合わせて5曲前後、昭和の曲を演奏した。知っている箇所では声を出して歌う姿や手拍子をされている姿がみられた。終了時には、「楽しかった。ありがとう」とお声がけをいただいた。

## 5. 支援活動を通しての所感と課題

被災から1年3カ月が経過し、宝立第一団地では、お茶会が住民により開催されていたが、イベント等が盛り込まれたお茶会は住民の楽しみでもあり、充実した時間になったと思われる。お互いに協力し、季節感を味わいながら、歌などを楽しみながら交流されたことは記憶に残ると推測される。今後、応急仮設住宅から恒久的な住宅に移転をされ、離れて暮らすようになって、このようなお茶会での交流を継続することが、心の支えになり孤独を防ぐことになると考えられる。今後も、中長期の住まいの環境の変化によるひきこもりや、孤独死、災害関連死を予防する取り組みとして、コミュニティ支援が重要と考える。

6. 様子（写真掲載の許可あり）



写真1 お茶会のチラシ



写真2 体操の様子



写真3 団子作りの様子



写真4 団子作りの完成



写真5 歌っている様子